

平成 30 年産麦類の放射性物質検査の結果について(第 4 報)

【要旨】

- 平成 30 年産麦類の放射性物質検査計画に基づき、「小麦」2 検体について検査を実施した結果、いずれも**不検出**でした（詳細は下表のとおり）。
- この結果を受けて、検査が終了した市町村の平成 30 年産麦類の出荷・販売・譲渡が可能となりました。

【参考】30 年産の麦類の検査は、市町村ごとに順次行います。

検査結果一覧

No.	生産地	品目 (麦種)	検体作成日	測定値 (単位 : Bq/kg)		
				放射性セシウム		
				Cs-134	Cs-137	計
1	滝沢市	小麦	7 月 10 日	不検出 (<4.9)	不検出 (<5.0)	不検出 (<9.9)
2	奥州市	小麦	7 月 10 日	不検出 (<3.7)	不検出 (<3.7)	不検出 (<7.3)

(参考) 食品衛生法上の基準値 (一般食品)
放射性セシウム (Cs-134 と Cs-137 の計) : 100Bq/kg
(注 1) 「測定値」欄の () 内は検出限界値
(注 2) 検査機関 : (一財) 東京顕微鏡院
(注 3) 測定機器 : ゲルマニウム半導体検出器

【参考】平成 30 年産麦類の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

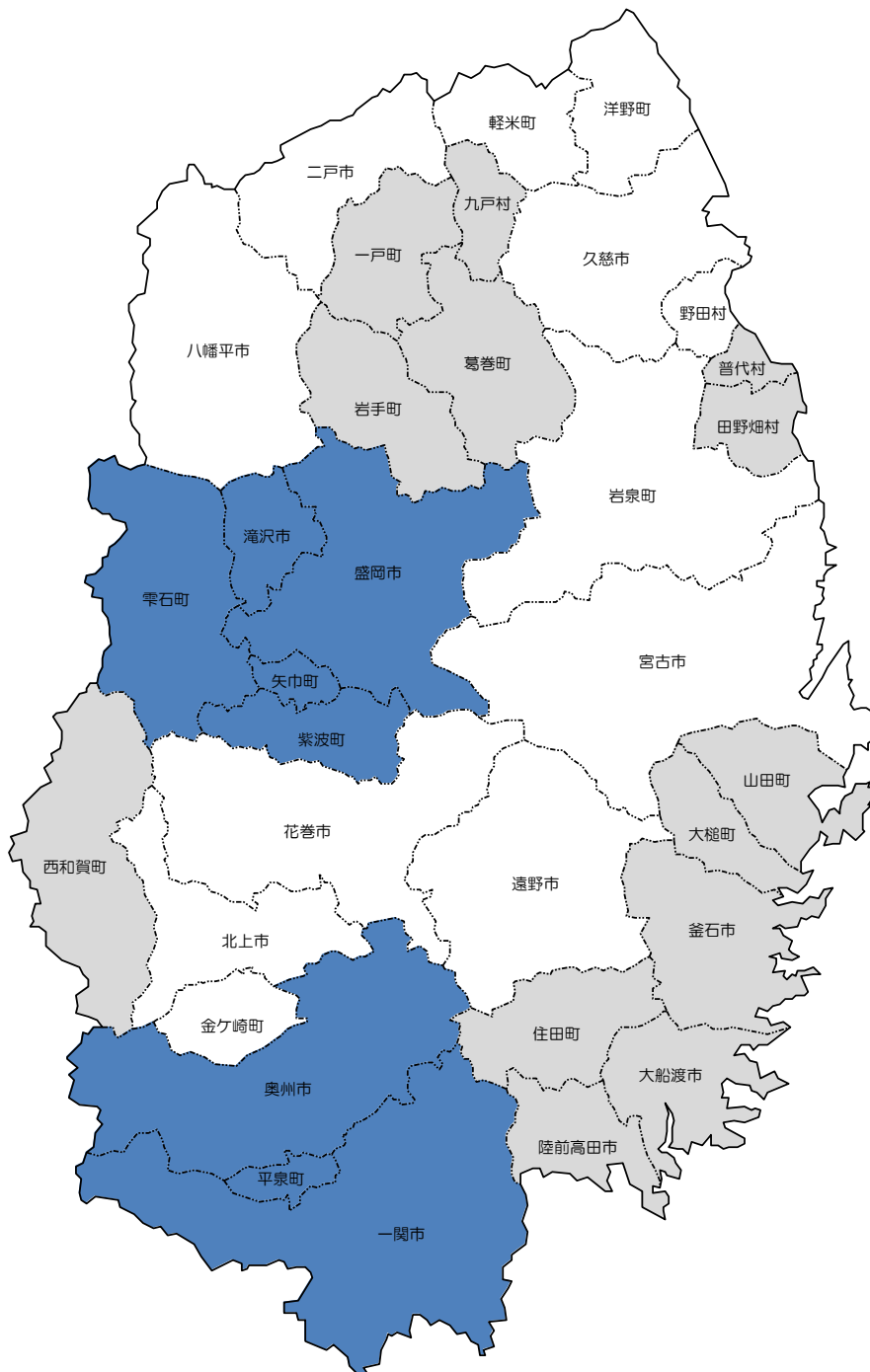
《小麦》

盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、奥州市、一関市、平泉町

《大麦》

奥州市(六条大麦)、一関市(六条大麦、二条大麦)

【参考】平成30年産麦類の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村（7月20日時点）



平成30年産麦類の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

- 《小麦》
盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、奥州市、一関市、平泉町
- 《大麦》
奥州市(六条大麦)、一関市(六条大麦、二条大麦)

平成30年産麦類の出荷がない市町村